

令和6年度 きゅうり 技術情報 No.5

大船渡農業改良普及センター
電話:0192-27-9918 FAX:0192-27-9936)



- ① 台風の事前・事後対策を徹底しましょう。
- ② ハウス内の気温低下が予想される場合には保温しましょう。
- ③ 低温性病害(黒星病、斑点細菌病)の発生に注意しましょう。
- ④ 長期収穫のために、薬剤散布を継続しましょう。

1 台風対策

◎事前対策

- ・ 大雨に備え、**排水溝の整備・点検**を行います。特に、ほ場外・ハウス外からの浸入水を防止するため、ほ場・ハウスの周囲にあらかじめ排水溝を設けておきます。
- ・ 強風に備え、**ネットや支柱の強度を確認**し、緩んでいる場合は補強しましょう。
- ・ ハウス栽培では、ハウスバンド（マイカ線）が切れていないか、緩んでいないかを点検するとともに、ビニールの破損があれば補修しておきます。筋交などの補強を実施して強風に備えます。

◎事後対策

- ・ **ほ場にたまった水はただちに排水**し、長時間滞水しないように努めます。排水後、ほ場作業が可能になったら、①マルチ穴を広げ畝の中の水分を乾かす、②畝間の中耕を行う、③酸素供給剤を活用する等の対策を実施し、土壌中に酸素を送って根の伸長を促進します。
- ・ **べと病、炭疽病、褐斑病**が発生しやすくなりますので、防除暦を参考に薬剤散布を実施しましょう。
- ・ 草勢が低下した場合は、必要に応じて**液肥を低倍率で施用または葉面散布し、草勢回復**を図ります。

2 温度管理(ハウス)

- ・ ハウス内の最低気温の目安は12～14℃です。この温度以下になることが予想される場合には、ハウスの入口、側窓を閉めて**保温**しましょう。

3 病害防除

- お盆以降、べと病、炭疽病、褐斑病が発生しているほ場が多くなっています。耐病性品種を導入したほ場では、例年よりも病気の発生が抑えられています。定期防除を継続し、長期収穫を目指しましょう。
- 気温の低下に伴い低温性病害（黒星病・斑点細菌病）にも注意が必要です。

表 特別散布農薬一覧

病害名	薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数	備考
褐炭斑疽病	ストロビーフロアブル	収穫前日まで	3回以内	3,000倍	注) Qol剤
	ファンベル顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	1,000倍	注) Qol剤 ペフドー水和剤と同成分を含む。 合わせて7回以内。
	アミスターオプティフロアブル	収穫前日まで	4回以内	1,000倍	注) Qol剤 ダコニール1000、ベジセイバーと 同成分を含む。 合わせて12回以内。
	ゲッター水和剤	収穫前日まで	5回以内	1,500倍	
褐斑病	セイビアーフロアブル20	収穫前日まで	3回以内	1,000倍	
	カンタスドライフロアブル	収穫前日まで	3回以内	1,500倍	注) SDHI剤
	フルピカフロアブル	収穫前日まで	4回以内	2,000倍	
黒星病	スコア顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	2,000倍	
	ベジセイバー	収穫前日まで	3回以内	1,000倍	注) SDHI剤 ダコニール1000、アミスターオプ ティフロアブルと同成分を含む。 合わせて12回以内。
細菌斑点病	コサイド3000	—	—	2,000倍	野菜類に登録
	ジーファイン水和剤	収穫前日まで	—	1,000倍	

注) Qol剤、SDHI剤は、耐性菌発生リスクが高いため年2回以内の使用とする、連用、止め散布には使用しない。
令和6年8月7日の農薬登録情報に基づいて作成しています。

農薬の使用は、必ず容器のラベルで使用基準（適用作物、単位面積当たりの使用量や希釈倍数、使用時期、有効成分の種類ごとの総使用回数）や注意事項を確認し、農薬使用者が責任を持って使用してください。

◆農薬使用の際は、①ラベルによる使用基準の確認 ②飛散防止 ③実績の記帳 を徹底しましょう。
◆いわてアグリベンチャーネット URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>
岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！